第40期

公益財団法人 財務会計基準機構 会員
FASF

私たちはお客様の夢を実現する
ソリューション・カンパニーを目指しています
お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力

第1四半期
決算短信補足資料
2019

JPX
東証一部上場
証券コード：4284

2019年4月25日

SOLXYZ
株式会社ソルクシーズ

経営の基本方針

当社グループは最新の情報技術（ＩＴ）を駆使し、お客様にご満足頂ける最適なＩＴソリューションを提供することを基本方針とし、この方針に沿った継続的な努力により社業の拡大・発展を期します。また、最適なＩＴソリューションの提供を通じ、社会に貢献することを会社の使命といたします。

経営のモットー

「愛と夢のある企業」を目指します。合理性に裏打ちされた厳しさは当然必要ですが、ともすれば合理性に偏重しがちなソフトウェア開発が仕事の中心であればこそ、その経営には愛と夢が必要と考えます。

経営理念

１．　高い技術力を持ち社会に貢献する
２．　お客様に最高の満足を提供する
３．　皆が夢を持ち続けられる企業をめざす
４．　新ビジネス・新技術へチャレンジする
５．　グローバル企業をめざす

激変する業務環境、根底から変わりつつある業務構造に合わせ、私たち自身の意識、スキル、業務プロセスを変えてまいります。若いメンバーからなる組織のまとまりを活かし、スピードを大事にしながら、大胆な発想の下、変化に果敢に挑戦し続けます。また、こうした姿勢があってはじめて同じような状況におかれているお客様の変革を支えることができるものと確信しております。

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

ソルクシーズの歩み

1981	2 月	㈱エポックシステム設立
1998	1 月	㈱トータルシステムコンサルタントと合併 新商号は㈱エポック・ティーエスシー
2001	4 月 7 月	新商号を㈱ソルクシーズに変更 日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録（現 JASDAQ）
2003	3 月	㈱エフ・エフ・ソルを設立
2004	6 月	㈱エンカレッジ・テクノロジに資本参加
2005	12 月	㈱イー・アイ・ソルを設立
2006	4 月	SBI ホールディングス㈱と資本・業務提携
2007	5 月 7 月 11 月 11 月	㈱インフィニットコンサルティングを設立 ㈱エーアイと資本・業務提携 丸紅㈱と資本・業務提携 ㈱ノイマンの株式取得　㈱ teco 譲受
2008	3 月 9 月	㈱インターコーポレーションの株式取得（現インターディメンションズ） ㈱エクスモーションを設立
2009	12 月	㈱コアネクストを設立
2010	11 月	㈱アスウェアを設立
2015	10 月 12 月	アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク合同会社を設立 東京証券取引所 市場第二部に株式上場
2016	6 月	東京証券取引所 市場第一部に株式上場
2017	4 月 5 月 6 月	㈱ニューイング・ソフトと資本・業務提携 豊田通商㈱と資本・業務提携 ㈱アックスに資本参加
2018	7 月 7 月	㈱エクスモーションが東京証券取引所マザーズ 市場に株式上場 ジーフィット㈱と資本・業務提携
2019	2 月	東京都港区芝浦に本社を移転

1995 年 1 月
阪神淡路大震災

1995 年 3 月
地下鉄サリン事件

2001 年 9 月
米国同時多発テロ

2008 年 9 月
リーマンショック

2011 年 3 月
東日本大震災

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

2019年度 第 1 四半期実績

2019 年度　第 1 四半期の概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
連結業績の推移（過去 5 年間） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
要約連結貸借対照表（5 ヶ年推移） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
要約連結貸借対照表（前期末比増減） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
企業集団の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5，6
当社の強み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7，8

2019年度 計画

2019 年度業界別市場動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
2019 年度取り組み方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
2019 年度通期業績予想（連結） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
※ 2019 年 1 月 31 日発表の連結業績予想と同一内容です

資料

株主の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
会社情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

2019年度 第１四半期の概況

環境・概況

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は緩やかな回復基調が続き、国内ＩＴ投資についても総じて堅調に推移しました。

このような環境の下、当社は、本社を港区芝浦に移転するとともに、主力のＳＩ／受託開発業務において、優良案件の獲得に努めました。

業績

（売上高）

当第１四半期連結累計期間の売上高については、前年同四半期比 5.6% 増の 3,307 百万円となりました。

■主業務であるソフトウェア開発事業の外部顧客への売上高は、産業向けＳＩ／受託開発業務およびグループ会社における組込み系開発業務等が増収となり、同 6.3% 増の 3,272 百万円となりました。

■デジタルサイネージ事業の外部顧客への売上高は、同 34.9% 減の 34 百万円となりました。

（損益）

■官公庁向けおよびインフラ・製造業向け等のＳＩ／受託開発業務の増益により、営業利益は同 142.5% 増の 147 百万円となり、経常利益は同 149.4% 増の 148 百万円となりました。

■法人税等調整額を含む法人税等 53 百万円を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は同 1042.5% 増の 89 百万円となりました。

（連結業績予想）

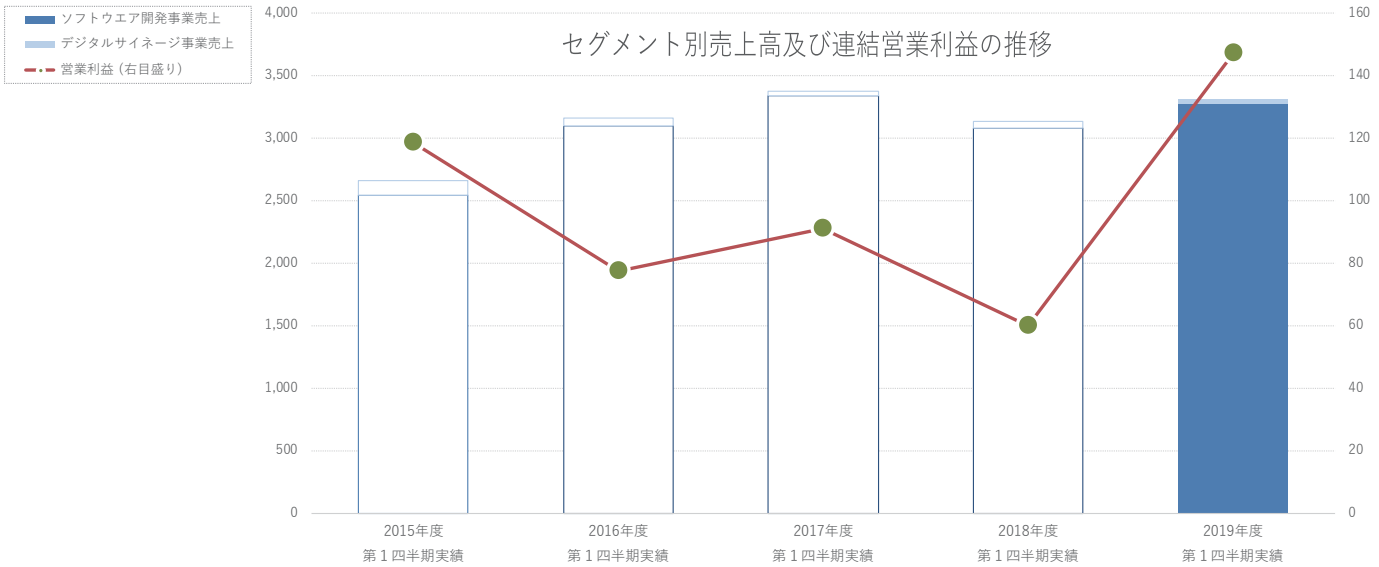
■第２四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結業績の推移（過去5年間）

（単位：百万円）

	2015年度 第1四半期実績		2016年度 第1四半期実績		2017年度 第1四半期実績		2018年度 第1四半期 実績		2019年度 第1四半期 実績		
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比伸び率
売上高	2,654	100.0%	3,160	100.0%	3,373	100.0%	3,130	100.0%	3,307	100.0%	5.6%
ソフトウェア開発事業	2,545	95.9%	3,099	98.1%	3,335	98.9%	3,077	98.3%	3,272	99.0%	6.3%
デジタルサイネージ事業	108	4.1%	61	1.9%	38	1.1%	52	1.7%	34	1.0%	△34.9%
売上原価	2,119	79.8%	2,631	83.3%	2,774	82.2%	2,568	82.0%	2,624	79.3%	2.2%
売上総利益	535	20.2%	529	16.7%	599	17.8%	562	18.0%	683	20.7%	21.5%
販売管理費	416	15.7%	451	14.3%	507	15.0%	501	16.0%	535	16.2%	6.8%
営業利益	118	4.5%	77	2.4%	91	2.7%	60	1.9%	147	4.5%	142.5%
営業外損益	△0	△0.0%	△21	△0.7%	7	0.2%	△1	△0.0%	0	0.0%	n.a.
経常利益	118	4.5%	55	1.8%	99	2.9%	59	1.9%	148	4.5%	149.4%
特別損益	△0	△0.0%	△0	△0.0%	0	0.0%	0	△0.0%	2	0.1%	n.a.
税金等調整前四半期純利益	118	4.5%	55	1.8%	99	2.9%	59	1.9%	150	4.6%	154.1%
法人税等・法人税等調整額	115	4.3%	69	2.2%	56	1.7%	51	1.6%	53	1.6%	3.5%
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0.0%	△0	0.0%	0	△0.0%	0	0.0%	8	0.3%	－%
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2	0.1%	△13	△0.4%	42	1.3%	7	0.2%	89	2.7%	－%



		2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期
純資産額	（百万円）	3,008	3,918	4,225	4,754	6,469
（前期比）	（百万円）	(+319)	(+909)	(+305)	(+529)	(+1,715)
総資産額	（百万円）	7,800	9,011	9,769	10,689	12,632
（前期比）	（百万円）	(+898)	(+1,211)	(+757)	(+920)	(+1,942)
1株当たり純資産額	（円）	277.73	318.37	343.18	377.49	475.32
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失（△）	（円）	0.22	△1.15	3.56	0.63	7.16
自己資本比率	（%）	38.2	42.5	42.3	43.5	46.8

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

要約連結貸借対照表（５ヶ年推移）

（単位：百万円）

	2015年3月末		2016年3月末		2017年3月末		2018年3月末		2018年12月末		2019年3月末			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期末比増減	前期末比増減率
【資産の部】														
Ⅰ 流動資産	4,298	55.1%	5,172	57.4%	5,825	59.6%	6,866	64.2%	8,057	66.6%	8,242	65.2%	184	2.3%
1．現金及び預金	1,547		1,691		2,272		3,775		4,838		5,674		836	17.3%
2．受取手形・売掛金 (注1)	1,856		2,120		2,980		2,338		2,591		2,130		△461	△17.8%
3．有価証券	481		1,003		0		0		0		0		0	n.a.
4．たな卸資産	292		253		442		560		254		311		56	22.4%
5．その他	120		103		128		191		372		125		△247	△66.3%
Ⅱ 固定資産	3,502	44.9%	3,839	42.6%	3,944	40.4%	3,823	35.8%	4,035	33.4%	4,390	34.8%	355	8.8%
1．有形固定資産	543	7.0%	556	6.2%	550	5.6%	561	5.3%	520	4.3%	642	5.1%	122	23.5%
2．無形固定資産	657	8.4%	1,014	11.3%	1,134	11.6%	1,075	10.1%	614	5.1%	654	5.2%	39	6.4%
(1) のれん	—		220		176		132		99		88		△11	△11.1%
(2) ソフトウェア	655		792		956		941		513		564		50	9.8%
(3) その他	2		2		2		1		1		1		0	△0.2%
3．投資その他の資産	2,301	29.5%	2,268	25.2%	2,260	23.1%	2,187	20.5%	2,900	24.0%	3,093	24.5%	193	6.7%
(1) 投資有価証券	1,576		1,564		1,496		1,210		1,836		1,971		134	7.3%
(2) その他	725		704		763		976		1,063		1,122		58	5.5%
資産合計	7,800	100.0%	9,011	100.0%	9,769	100.0%	10,689	100.0%	12,092	100.0%	12,632	100.0%	540	4.5%
【負債の部】														
Ⅰ 流動負債	2,531	32.4%	2,855	31.7%	3,132	32.1%	3,131	29.3%	2,848	23.6%	3,218	25.5%	369	13.0%
1．支払手形・買掛金	496		734		693		998		610		912		302	49.5%
2．短期借入金	789		873		970		804		820		820		0	0.0%
3．1年以内返済予定長期借入金	545		582		518		529		455		492		36	8.1%
4．その他	698		664		950		798		962		993		30	3.2%
Ⅱ 固定負債	2,260	29.0%	2,237	24.8%	2,412	24.7%	2,804	26.2%	2,765	22.9%	2,945	23.3%	179	6.5%
1．長期借入金	673		545		500		799		726		911		184	25.5%
2．退職給付に係る負債	1,412		1,489		1,665		1,742		1,767		1,773		5	0.3%
3．役員退職慰労引当金	156		177		193		212		229		215		△13	△6.1%
4．その他	18		24		52		50		42		44		2	6.0%
負債合計	4,791	61.4%	5,093	56.5%	5,544	56.8%	5,935	55.5%	5,614	46.4%	6,163	48.8%	548	9.8%
【純資産の部】														
Ⅰ 株主資本	2,719	34.9%	3,697	41.0%	4,021	41.2%	4,444	41.6%	5,218	43.2%	5,122	40.5%	△96	△1.9%
1．資本金	1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		1,494		0	0.0%
2．資本剰余金	1,468		1,699		1,699		1,736		2,333		2,333		0	0.0%
3．利益剰余金	759		1,015		1,339		1,616		1,755		1,658		△97	△5.6%
4．自己株式	△1,003		△511		△511		△402		△364		△364		0	△0.2%
Ⅱ その他の包括利益累計額	257	3.3%	134	1.5%	109	1.1%	209	2.0%	691	5.7%	788	6.2%	97	14.1%
1．評価差額金	278		185		206		281		731		825		94	13.0%
2．為替換算調整勘定	29		△10		0		0		0		0		0	n.a.
3．退職給付に係る調整累計額	△50		△40		△97		△71		△39		△37		2	△6.2%
Ⅲ 新株予約権	6	0.1%	6	0.1%	10	0.1%	8	0.1%	7	0.1%	3	0.0%	△3	△45.7%
Ⅳ 非支配株主持分	25	0.3%	79	0.9%	83	0.9%	90	0.9%	560	4.6%	554	4.4%	△6	△1.1%
純資産合計	3,008	38.6%	3,918	43.5%	4,225	43.2%	4,754	44.5%	6,477	53.6%	6,469	51.2%	△8	△0.1%
負債・純資産合計	7,800	100.0%	9,011	100.0%	9,769	100.0%	10,689	100.0%	12,092	100.0%	12,632	100.0%	540	4.5%

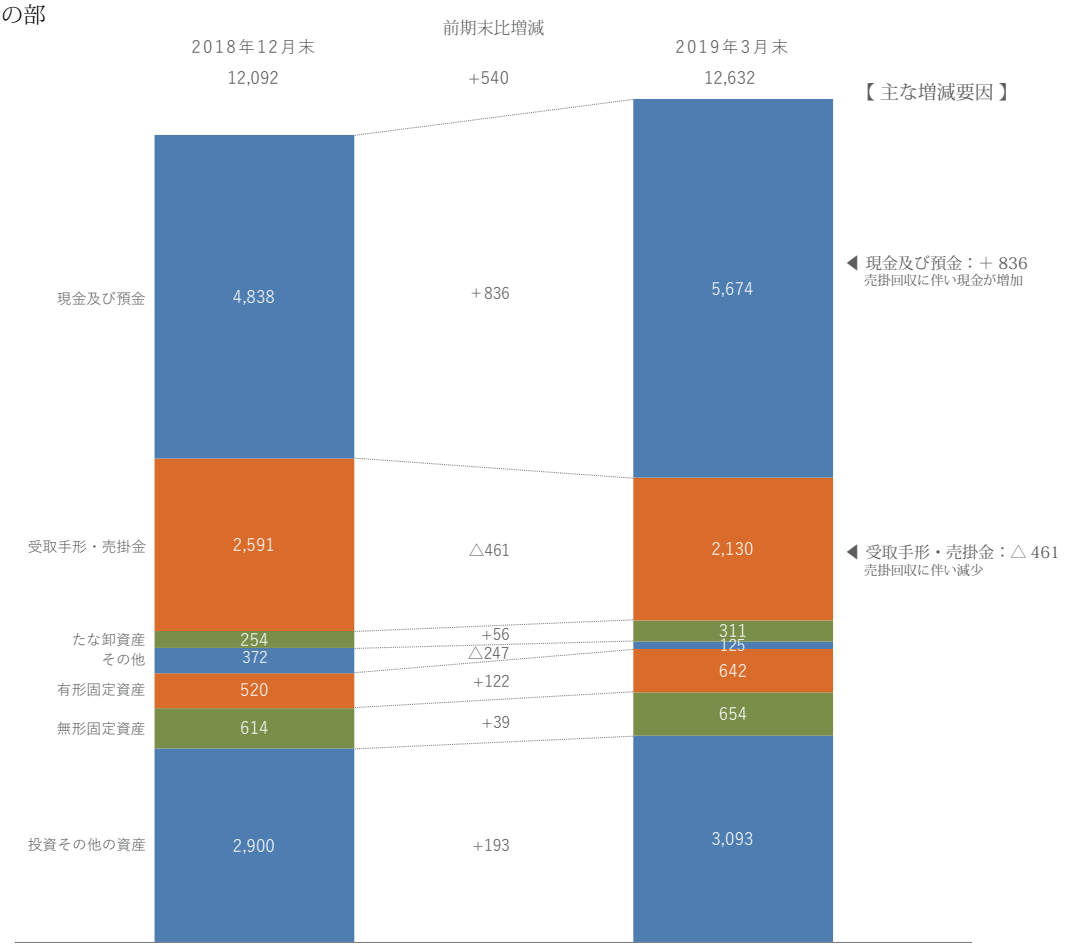
（注1）進行基準の売上高に対する未収入金を含む。

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

要約連結貸借対照表（前期末比増減）

■総資産は前年期末比 540 百万円増加し、12,632 百万円となりました
■純資産は前期末比 8 百万円減少し、6,469 百万円となりました

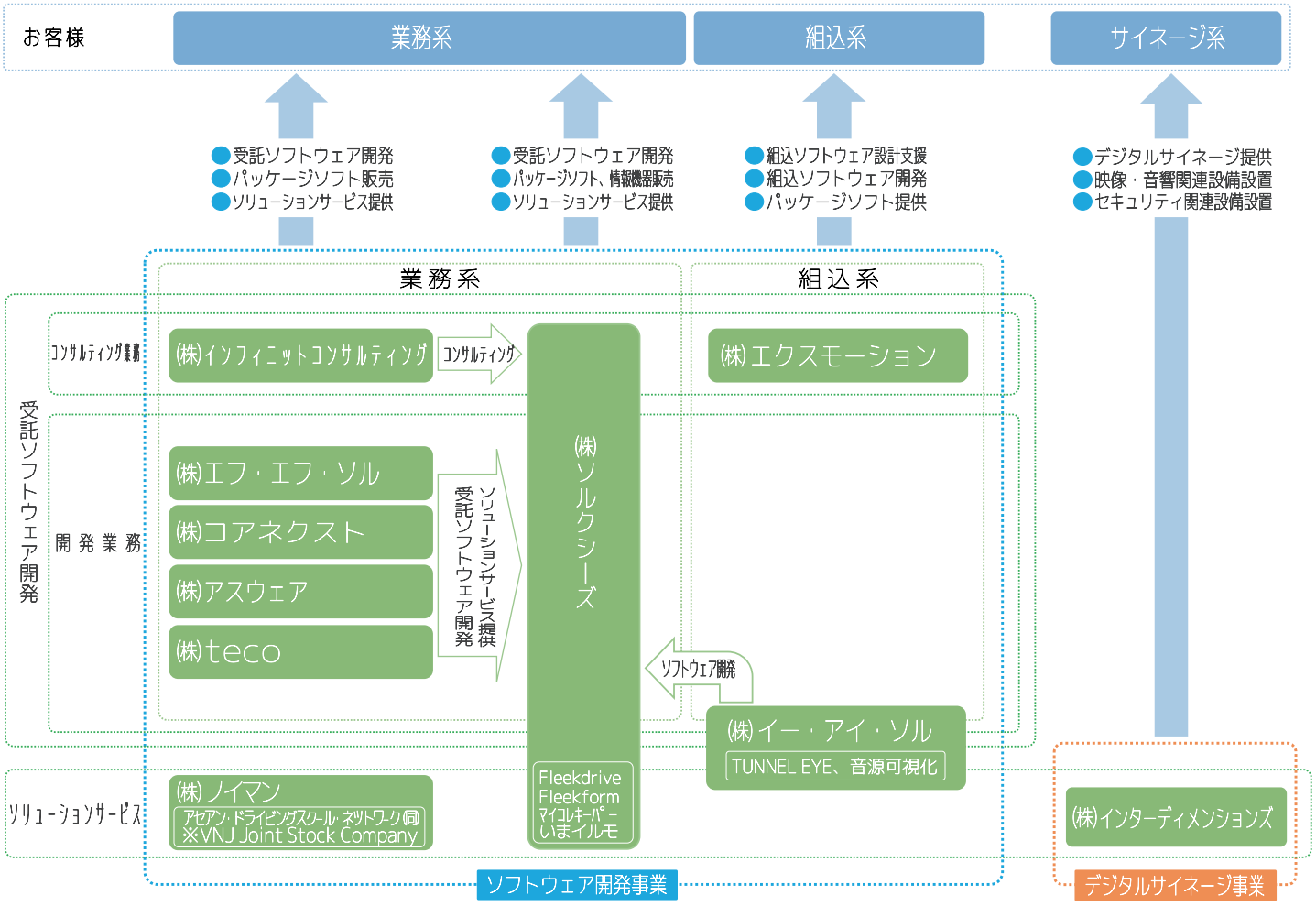
資産の部



負債/純資産の部

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業集団の状況



※VNJ Joint Stock Companyは持分法非適用関連会社です

【連結対象子会社】

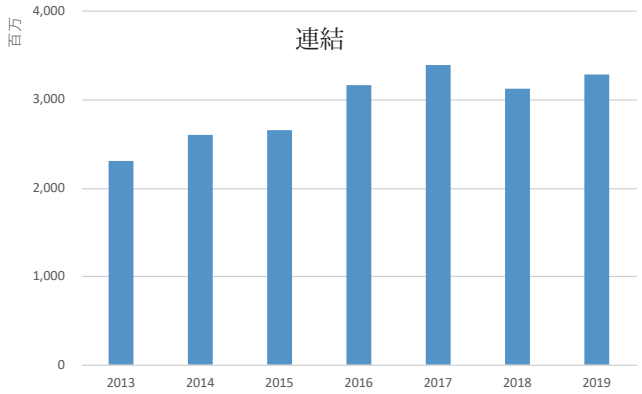
2018年12月末現在

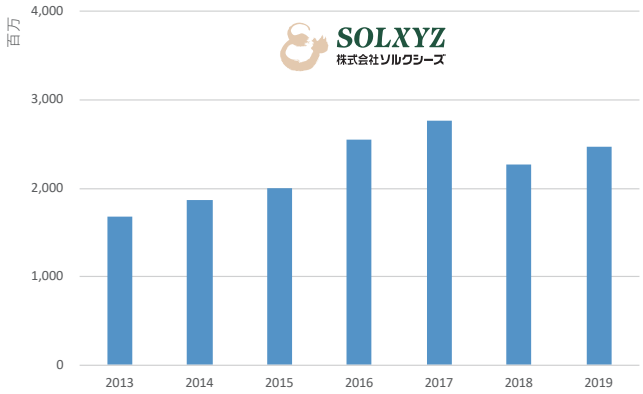
会社名	主な事業の内容	主な顧客	設立年月（取得年月）(注1)	資本金	出資比率
㈱エフ・エフ・ソル	銀行系に特化した受託ソフトウェア開発	ネット系銀行、都市銀行、地方銀行	2003年3月	128百万円	95.9%
㈱イー・アイ・ソル	組込・制御・計測関連ソフトの開発、販売、その他サービス業務	装置系製造企業、計測機器企業	2005年12月	30百万円	100.0%
㈱teco	WEBマーケティングに関するコンサル・企画、WEBサイトの開発・運用・保守	寝具系企業、手芸系EC、電力系企業	2006年12月（2007年11月）	30百万円	100.0%
㈱インフィニットコンサルティング	システム開発の上流工程におけるコンサルティングサービス	証券会社、電気メーカー、医療系企業	2007年5月	30百万円	100.0%
㈱ノイマン	自動車教習所向け各種ソリューション提供	全国の自動車教習所（シェア6割以上）	1984年 9月（2007年11月）	245百万円	100.0%
㈱インターディメンションズ	ディスプレイ、映像配信システムを活用したデジタルサイネージ及び映像コンテンツ制作	商業施設、文教自治体、各種不動産店舗	1978年1月（2008年3月）	20百万円	100.0%
㈱エクスモーション (注2)	自動車メーカーや医療機器メーカー等へのソフトウェアエンジニアリングを活用した実践的なコンサルティング	自動車メーカー、医療機器メーカー	2008年9月	425百万円	60.6%
㈱コアネクスト	投資顧問業向け等、証券バイサイドの受託ソフトウェア開発	投資信託、投資顧問	2009年12月	9百万円	100.0%
㈱アスウェア	ＩＣＴインフラの企画・構築・保守	SIベンダー、通信系企業	2010年11月	9百万円	100.0%
アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)	ノイマンの各種ソリューションをベトナムに展開するための支援	― (注3)	2015年10月	1百万円	75.7% (注4)

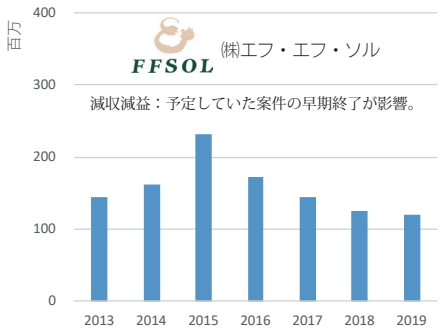
（注1）買収等により連結子会社となった会社については、取得年月を（　）内に記載しております。
（注2）㈱エクスモーションは、東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場する、上場子会社です。（上場日：2018年7月26日）
（注3）アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)は、営業実績がありませんので記載を省略しております。
（注4）㈱ソルクシーズと㈱ノイマンの合計比率です。

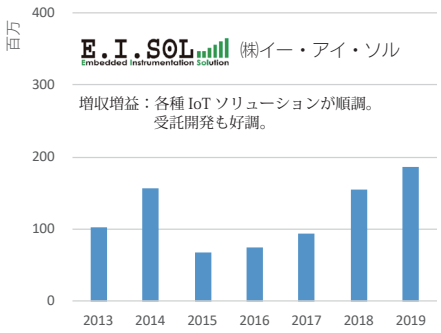
Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

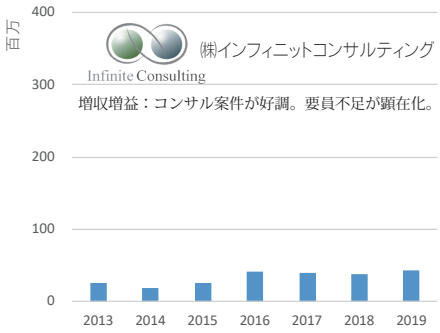
企業集団の業績概況（第１四半期売上高推移）

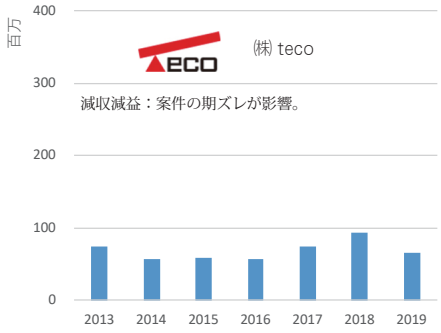


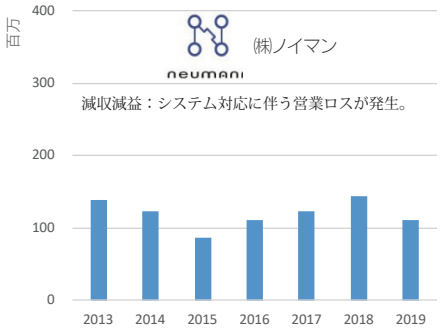


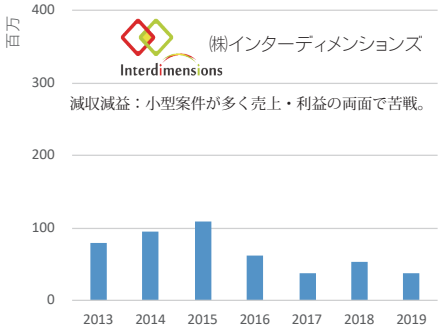


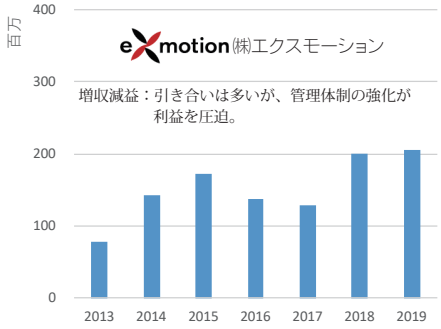


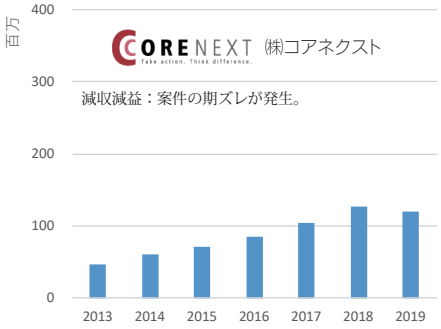


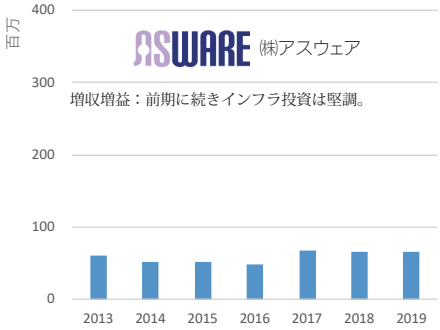




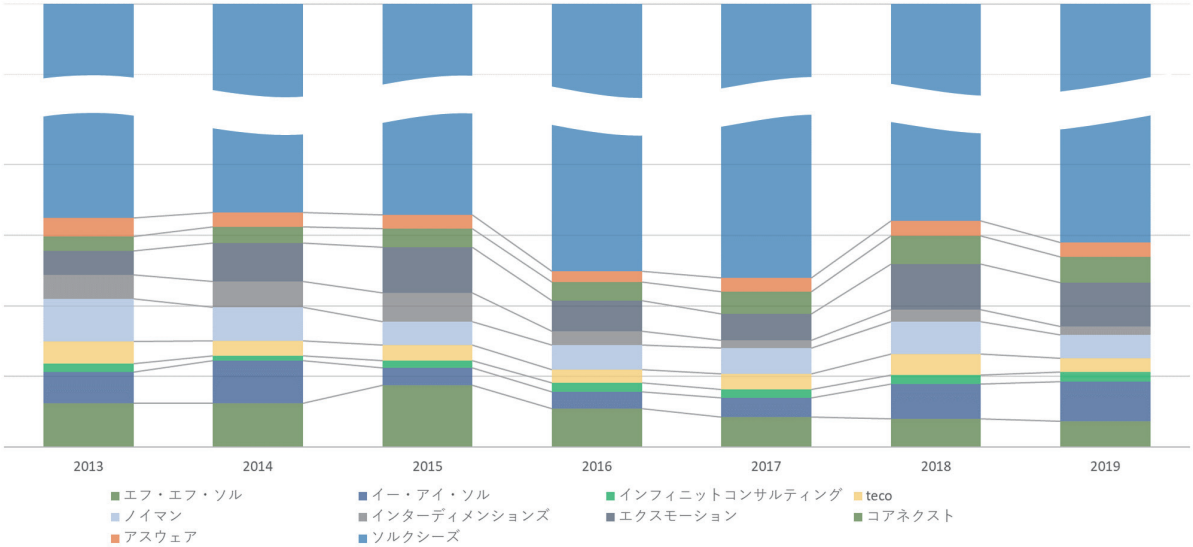






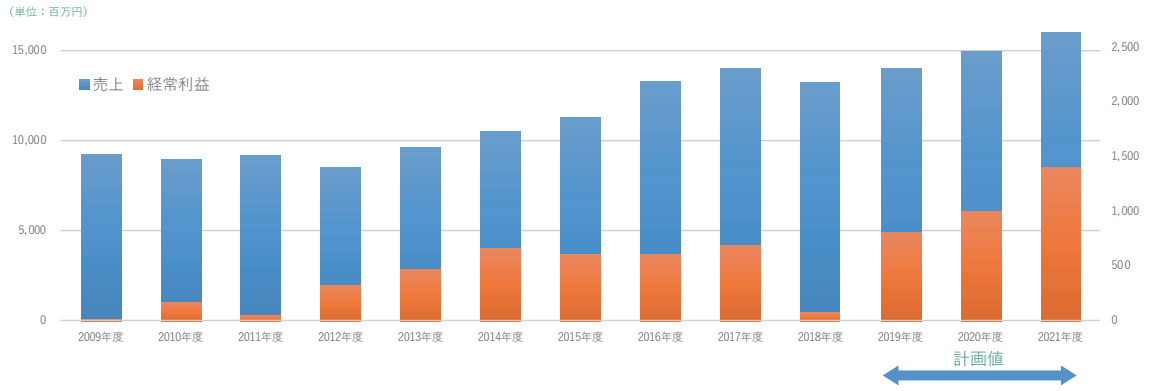


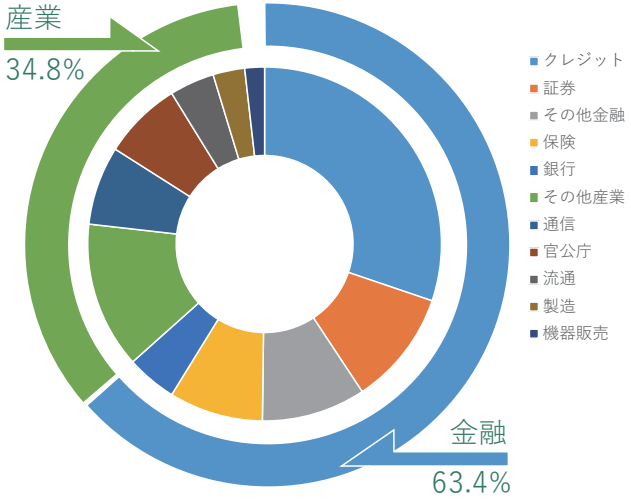
企業集団の売上割合の推移



Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

1 安定的な経営基盤





多彩な業種・業務

特定業種・業務に偏らない多様性

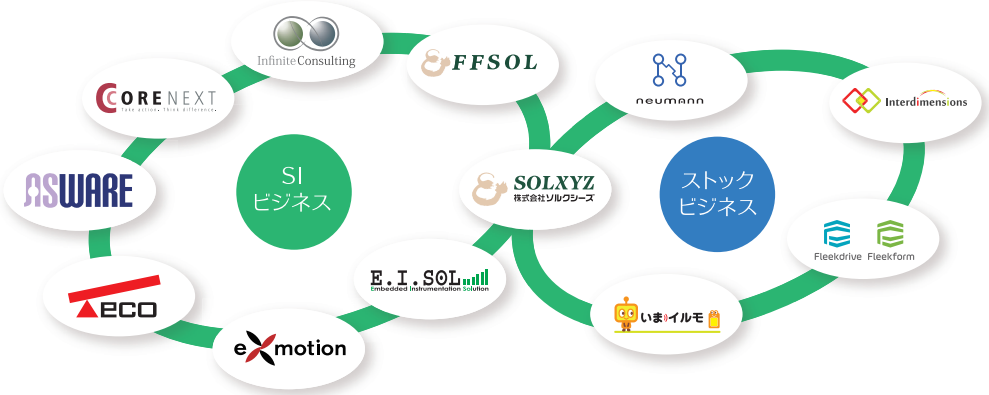
強固な顧客基盤

直接ご支援させて頂いている金融業界のお客様を主軸に、各方面のお客様とお取引を長年に亘り継続

2 多彩なグループ構成

SIビジネスとストックビジネスの両輪で顧客のビジネスを支援

システム構築をワンストップで支援。インフラ構築からシステム企画・設計・開発、更にクラウドを始めとする各種サービス・ソリューションの提供など、様々な要望に対応

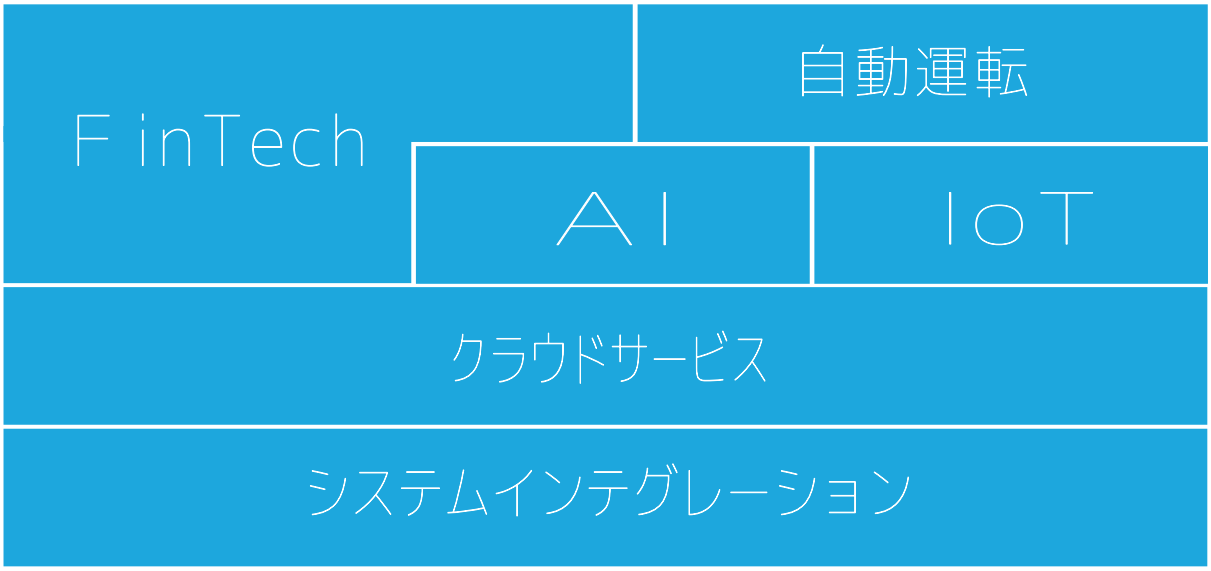


Infinite Consulting システム企画・提案	CORE NEXT 証券バイサイド向けシステム構築	eco WEBプロモーション支援	E.I.SOL 組込系ソリューション	neumann 自動車教習所向けソリューション開発・販売	Fleekdrive Fleekform クラウドサービス
FFSOL 銀行向けシステム構築	ASWARE ICTインフラ設計・構築	exmotion 組込系コンサルティング	SOLXYZ 株式会社ソルクシーズ 全方面のシステム構築	Interdimensions 映像・音響設計、デジタルサイネージ	いまイルモ 見守り支援システム

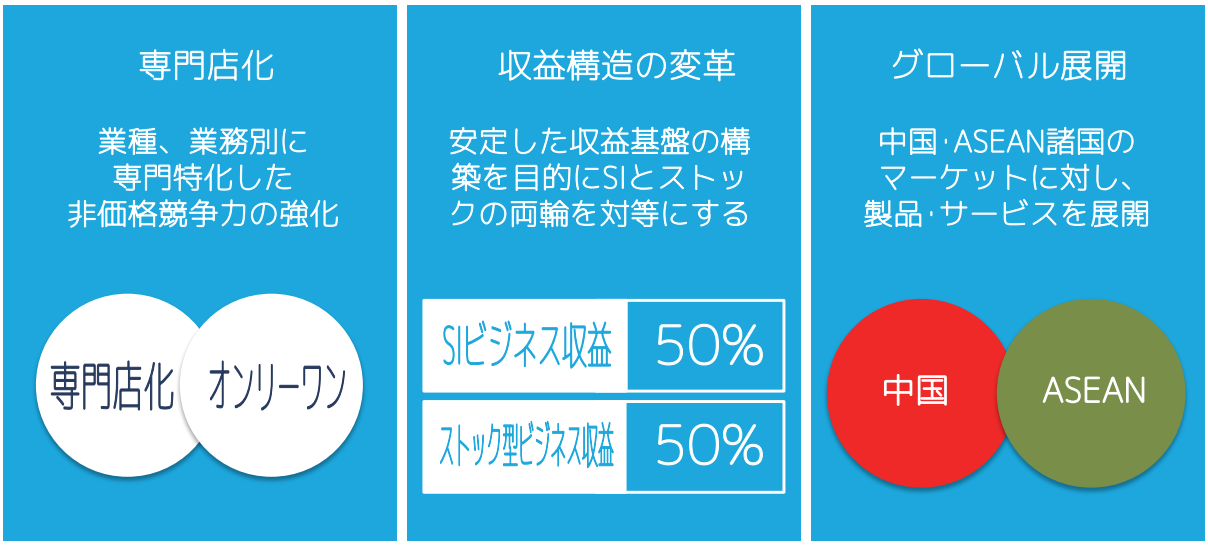
Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

3 成長分野への積極投資

様々な領域に必要とされる新しい分野に向けて、積極的にビジネスを展開



4 ３つの成長戦略により業績向上



Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

1 金融全般

「デジタル化の波」「超金融緩和政策の継続」など業界を取り巻く環境が激しくなる状況の中、「貯蓄から投資へ」とのスローガンを掲げて取り組んできた各種施策も進捗がみられないため、それぞれの施策の見直しが図られるものと考えられます。また政府が推進する「キャッシュレス化」については、若者を中心に波及しており、この新たなマーケットに向けて、垣根を超えた他業種からの金融への参画など、ＩＴを駆使した取り組みが継続すると思われます。

■ 銀行

引き続き収益拡大を目的としたチャネル系、顧客管理系システムの支出に加え、ＩＴを活用した生産性向上、業務効率化の取り組みも加速しています。一方で、ＦｉｎＴｅｃｈ（注1）を活用した国内外の他の産業分野の企業の参画など経営環境の変化に加え、キャッシュレス推進、実店舗等の無人化省力化対応等も求められています。また、直近では、2020 年東京五輪へのインバウンド対応で、海外カード、セキュリティ対策などが見込めます。

■ 保険

「人生 100 年時代」や「長生きリスク」などと言われる中、より健康で快適な長寿生活を実現するために膨大な医療データや先端技術の活用にＩＴが欠かせなくなっています。損保業界では、新たな商品・サービスが生まれ、代理店ビジネスからスマホでの直販等ＩＴ活用に変わりつつあります。

■ クレジット

政府によるキャッシュレス社会の推進と、消費税 10％増税に伴うポイント還元対応、改元対応等、システム開発および改修に積極的に投資を進めています。更に、改正割賦販売法による個人情報非保持化等の加盟店管理強化、ＰＣＩＤＳＳ対応（注2）、非接触ＩＣ決済、ＥＭＶ化（注3）、３Ｄセキュア（注4）等のセキュリティ強化にも力を入れており、これらに対するＩＴ投資が見込めます。また、本業界に異業種の参入が増えており、業務に精通したコンサルタントＳＥ、業務ＳＥ等の不足が大きな課題となります。

■ 証券

「米中貿易摩擦」「英国のＥＵ離脱」と言った不透明要因が、国内企業に与える影響も不透明であり、株式市場の先行きも不透明な状況です。また、異業種参入や異業種との提携と言った新たな取り組みが見られ、いずれもＩＴを活用しての取り組みであり、各社各様のＩＴ戦略投資が継続すると考えられます。

2 通信・放送

2020 年に本格サービスを開始する「5G」関連のコンテンツやサービス、ＩｏＴ（注5）を利用した異業種との連携に向けたＩＴ投資が今後は増えていく見込みです。また、放送業界では４Ｋ８Ｋ放送に関連したＩＴ投資が増加していくものと思われ、これらに対するＩＴ投資も見込めます。

3 小売・流通

インターネット通販等を中心にＩＴ投資は増加基調にあります。しかし、要員不足や消費増税に伴い、ＩＴ投資に対する意欲が低減する可能性があります。

4 官公庁

2019 年も横ばいで推移していく見込みです。その様な中、社会保障や次世代型社会インフラのスマート化、サイバーセキュリティ等に対するＩＴ予算は増加していくものと思われます。

5 製造業

グローバルな需要が進み、生産が拡大基調であり、2019 年も好景気に支えられＩＴ投資も順調に推移していく見込みです。一方、米中関係による貿易リスクを抱えており、急激な減速が起こる可能性もあります。

（注１）「Fintech（フィンテック）」とは、金融（Finance）とテクノロジー（Technology）を掛け合わせた造語で情報技術（IT）を駆使して金融サービスを生み出したり、見直したりする動きのこと。
（注２）「PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standards)」とは、加盟店やサービスプロバイダにおいて、クレジットカードの会員データを安全に取り扱う事を目的として策定された、クレジットカード業界のセキュリティ基準であり、国際カードブランド５社 (American Express、Discover、JCB、MasterCard、VISA) が共同で設立した PCI SSC(Payment Card Industry Security Standards Council) によって運用、管理されている。
（注３）「EMV 化」は Europay,MasterCard,VISA protcol の略で、クレジットカード仕様の１つ。EuroPay（ユーロペイ）、Matercard International（マスターカード・インターナショナル）、ならびに Visa International（ビザ・インターナショナル）の間で合意した IC カードの統一規格のこと。
（注４）「3D セキュア」とは、クレジットカードによるネットショッピングの決済時に利用される本人認証サービスの一種のこと。3D とは３つの領域 (ドメイン) のことを指しカード発行会社がイシュア領域において、カードホルダを承認し、加盟店契約カード会社はアクワイアラ領域で加盟店を承認する。その中間的な相互運用領域が取引データの受渡を行い認証完了をするという仕組みであり、Visa、MasterCard、JCB が推進している。
（注５）「IoT（Internet of Things）」とは、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行う仕組みのこと。

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

環境認識

1 クラウドサービスのニーズの高まりと多様化

クラウドファーストが一般的になり、企業のクラウド利用が常態化しています。今後は、ＩｏＴやＡＩ、自動車の車載センサー等との連携が進み、新たなシステムニーズがクラウドサービスに求められ、クラウドサービスが増大していきます。

2 ＩｏＴの活用

様々な箇所にセンサーが取り付けられ、ＩｏＴ社会が日常になり、ＩｏＴを活用した新しいビジネスが創出されています。今後は、ＩｏＴによって収集したビックデータの分析・解析にＡＩを活用したり、サンサーの高機能化によるエッジコンピューティングの重要性が高まっていきます。

3 自動運転の高度化と電動化

開発競争の争点がレベル３に移り、レベル４の開発・実験も行われるなど、自動運転向け周辺技術は益々進んでいます。ＣＡＳＥと呼ばれる自動車革命に向けてＩＴの重要性が高まっている中、電動化に向けた取り組みも進み、自動車とＩＴの融合による異業種参入の激化が予想されます。

4 ＦｉｎＴｅｃｈの実用化

銀行のシステムＡＰＩをベンチャーに開放するなど、重厚長大な金融機関とベンチャー企業との連携によるサービスが生まれています。今後はブロックチェーンを核にした連携サービスが拡大し、銀行だけではなく、証券業界やクレジット業界などにも広がっていきます。

5 ＡＩ利用の本格化

機械学習をベースとした、クラウド型ＡＩによるサービスが拡大してきており、ＡＩが一般的になりました。金融機関や一般的な企業もＡＩを活用したサービスの創出を検討しており、あらゆる物にＡＩが搭載されていきます。今後はエッジコンピューティングの高度化が進み、ＡＩが搭載された物･サービスが増大してきます。

基本方針

1 クラウドサービスの強化・推進

「Fleekdrive」をインフラとして、他のサービスとの連携やアプリケーションの搭載、ＡＩを活用した新たなサービスの創出を行います。また、2018 年に実現した豊田通商グループとのシンガポール拠点を活用し、海外マーケットの取り込みを推進します。

2 ＩｏＴの取り組み強化

グループが持っているセンサーを利用したサービスを組み合わせ、ソリューションを創出し、「いまイルモ」・「ＩｏＴ／予知保全システム」などの既存ソリューションについて、ＡＩ導入の可能性に向けて活動を強化します。また、重要となるエッジコンピューティングに向けたエンジニアリングの向上を図ります。

3 自動運転関連の取り組み強化

グループ会社の上場を契機に、自動車業界への支援体制は更に強化し、提携によるシナジー効果を最大限にする一方、他の業界に向けた自動化にも取り組んでいきます。また、自動運転向けのＯＳや各種技術の自社取り組みも強化し、エンジニアの育成を推進していきます。

4 ＦｉｎＴｅｃｈの取り組み推進

ＦｉｎＴｅｃｈ関連の開発案件の獲得を目的とした技術協力を中心に、ブロックチェーンやバーチャルカレンシー関連の開発案件に対して活動を継続しています。銀行業務向けが中心でしたが、今後は他の金融分野での取り組みも具体的になりつつあり、活動範囲の拡大を推進します。

5 ＡＩの取り組み推進

自社開発の各種ソリューションに、ＡＩを取り込む検討を継続しています。ユーザーのＡＩに対するニーズの増大を受けて、提案活動を推進します。

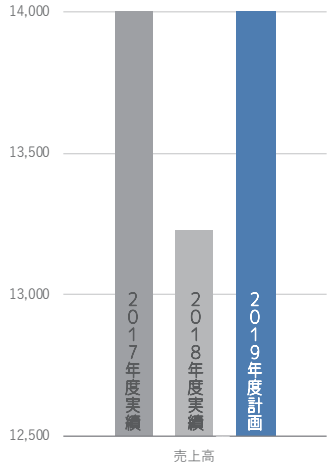
Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

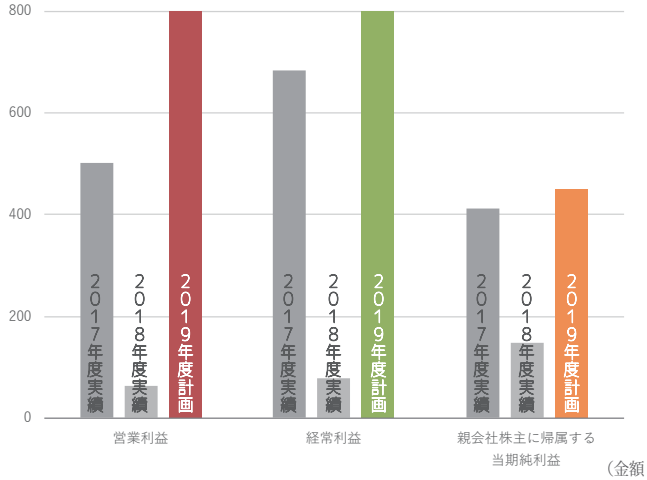
2019年度通期業績予想（連結）

2019年度連結業績は、2018年に収束したトラブルプロジェクトの影響により新規プロジェクトの立ち上がりが遅れる見通しであり、売上計画が低いものとなっておりますが、下期より持ち直しV字回復する計画です。

（金額：百万円）

通期	2017年度実績		2018年度実績		2019年度計画		
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比伸び率
売上高	14,001	100.0%	13,228	100.0%	14,000	100.0%	5.8%
ソフトウェア開発事業 SI/受託開発	12,313	87.9%	11,196	84.6%	11,610	82.9%	3.7%
ソフトウェア開発事業 ソリューション	1,379	9.9%	1,550	11.7%	1,898	13.6%	22.5%
デジタルサイネージ事業	307	2.2%	481	3.6%	491	3.5%	2.0%
売上原価	11,512	82.2%	11,033	83.4%	11,000	78.6%	△0.3%
売上総利益	2,489	17.8%	2,194	16.6%	3,000	21.4%	36.7%
販売管理費	1,987	14.2%	2,131	16.1%	2,200	15.7%	3.2%
営業利益	501	3.6%	63	0.5%	800	5.7%	－%
経常利益	683	4.9%	78	0.6%	800	5.7%	919.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	411	2.9%	147	1.1%	450	3.2%	205.9%





（金額：百万円）

中間期	2017年度実績		2018年度実績		2019年度計画		
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比伸び率
売上高	7,009	100.0%	6,446	100.0%	6,500	100.0%	0.8%
ソフトウェア開発事業 SI/受託開発	6,259	89.3%	5,632	87.4%	5,363	82.5%	△4.8%
ソフトウェア開発事業 ソリューション	605	8.6%	613	9.5%	906	13.9%	47.8%
デジタルサイネージ事業	145	2.1%	200	3.1%	231	3.6%	15.1%
売上原価	5,753	82.1%	5,198	80.6%	5,200	80.0%	0.0%
売上総利益	1,256	17.9%	1,248	19.4%	1,300	20.0%	4.2%
販売管理費	1,022	14.6%	1,026	15.9%	1,050	16.2%	2.3%
営業利益	234	3.3%	221	3.4%	250	3.8%	12.8%
経常利益	393	5.6%	229	3.6%	250	3.8%	9.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	239	3.4%	126	2.0%	130	2.0%	2.6%

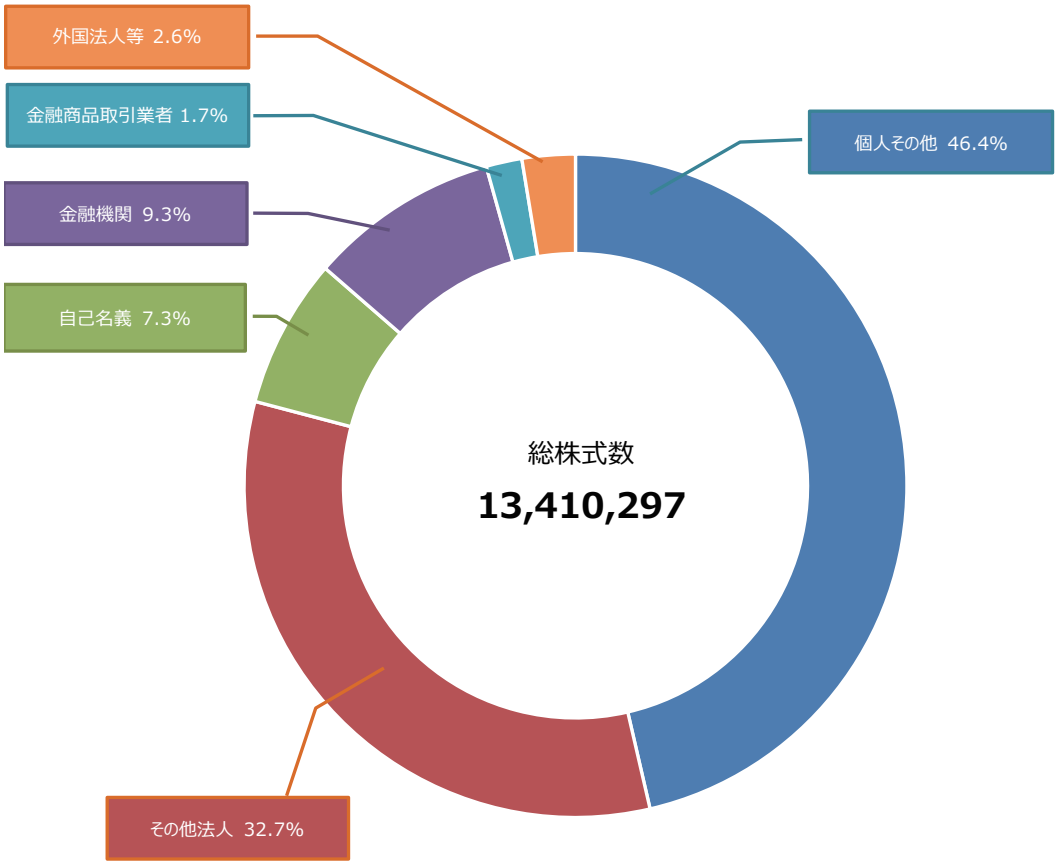
Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

大株主の状況

2018 年 12 月 31 日現在

氏名 又は 名称	所有株式数（千株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
SBI ホールディングス㈱	2,150	16.0%
㈱ビット・エイ	1,320	9.8%
自社株	977	7.3%
長尾章	559	4.2%
㈱ヤクルト本社	530	4.0%
ソルクシーズ従業員持株会	236	1.8%
日本証券金融㈱	207	1.5%
日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口）	194	1.5%
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口 5）	162	1.2%
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口）	153	1.1%
豊田通商㈱	134	1.0%
その他	6,783	50.6%
計	13,410	100.0%

所有者別の状況（主体別所有者株式数）



Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

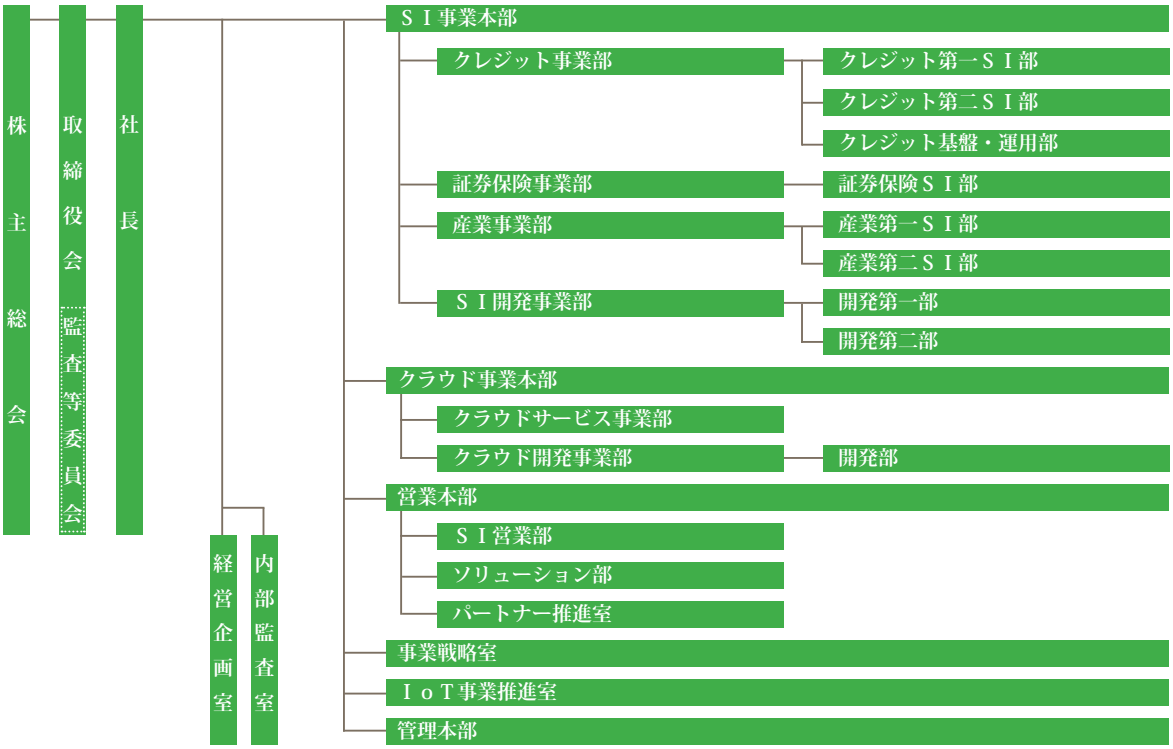
会社概要

社名	株式会社ソルクシーズ
設立	1981年2月4日
資本金	14億9,450万円
事業内容	ＳＩ／受託開発業務（システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守）、ソリューション業務（セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守）及び関連機器の販売等
所在地	本社　〒108-0023　東京都港区芝浦三丁目1番21号 ℡ 03-6722-5011（代表）　Fax 03-6722-5021 東京ANNEX　〒108-0014　東京都港区芝五丁目33番7号 福岡営業所　〒812-0038　福岡県福岡市博多区祇園町四丁目2番 ℡ 092-283-8411　Fax 092-283-8412

役員一覧

代表取締役社長	長尾　章	
専務取締役	田中　守	ＳＩ事業本部管掌　兼　クラウド事業本部管掌
常務取締役	渡辺　源記	営業本部長
常務取締役	萱沼　利彦	クラウド事業本部長
常務取締役	長尾　義昭	ＳＩ事業本部長
取締役	小森　由夫	ＳＩ事業本部副本部長　兼　証券保険事業部長
取締役	秋山　博紀	経営企画室長
取締役	金成　宏季	管理本部長
取締役	渡辺　博之	
取締役	常勤監査等委員　石田　穂積	
取締役	監査等委員　中田　喜與美	
取締役	監査等委員　前田　裕次	
取締役	監査等委員　佐野　芳孝	

組織図



Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

【お問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ　経営企画室　秋山
E-mail: ir-post@solxyz.co.jp
Tel: 03-6722-5011
Fax: 03-6722-5021
https://www.solxyz.co.jp

【見通しに関する注意事項】

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われないようにお願いいたします。

Copyright 2019 SOLXYZ Co., Ltd. All Rights Reserved.

SOLXYZ

究極の問題解決を提供する会社へ

SOLXYZとは究極（XYZ）の問題解決（Solution）を提供したいという
願いを込めた社名です。私たちはお客様の夢を実現する
ソリューション・カンパニーを目指します。

https://www.solxyz.co.jp